

芳賀赤十字病院だより

16
Number

発行責任者／岡田 真樹 編集／芳賀赤十字病院 企画情報課 栃木県真岡市台町2461

副院長就任の挨拶

副院長 佐藤 健太郎

平成24年8月1日付をもちまして副院長を拝命しました佐藤です。

昭和63年から芳賀赤十字病院で内科診療を続けております。当時の芳賀赤十字病院はその時代には全国どこにでも見られた、まさに町の総合病院として一次診療から二次診療までをカバーする「何でも屋」的な病院でした。夜間や休日の救急外来も内科小児科系で1名、外科系で1名の当直体制で、一次診療で忙殺される毎日でした。不慣れな子供さんたちの診療で大変な緊張にさらされ同時に二次救急にも対処するといった状況でした。

糖尿病教室で講義中の佐藤副院長

医師の増員に伴い環境は徐々に改善されてきておりましたが、皆さまもよくご存じのとおりその後に起こった医師不足は当院にも大きな影響を及ぼし、一時は内科医師が2名にまで減ってしまい一般診療・救急医療ともに支障をきたす事態となって地域の皆さまには大変ご迷惑をおかけしたことは当時の医師の一人として改めてお詫び申し上げます。この緊急事態の際には関係各位のご尽力をいただきました。また、芳賀郡市医師会の先生方により芳賀地区救急医療センターが、夜間と休日の一次診療をカバーしていただくようになりました。また、自治医科大学のご支援で現院長の岡田院長をはじめ多くの先生方が当院での診療にあたっていただくようになり、地域のご支援のなか、岡田院長のリーダーシップのもと着実に改善が進み現在にいたっております。

今後は、将来の病院のあるべき姿を見据えての取り組みも始まり、ますます当医療圏で二次（三次）救急医療の担い手としての責任を全うできるよう病院が一丸となって取り組んでいくことが必要となります。私も現職としていくらかでもお役に立てればと考えているところです。

これからも芳賀赤十字病院をよろしくお願ひ申し上げます。

Contents

就任挨拶	1 救急医療	2 救急科紹介	3 防 災	4 体験実習・お知らせ	5	6
副院長就任挨拶 佐藤健太郎副院長	地域の 二次救急医療に 取り組んでいます	救急スタッフ紹介 トピックス	防災訓練参加 災害支援協定締結	高校生・中学生が 職場体験 お知らせ		外来診療予定表

— 救急科開設から1年 — 地域の二次救急医療に取り組んでいます

当院は、芳賀救急医療圏において唯一の二次救急医療病院として取り組んでいます。年間3,700件ほどの救急車を受け入れており、栃木県内でも有数の多さです。二次救急医療病院としてより的確な救急医療を提供できるよう、積極的に取り組んでいます。当院では平成23年4月1日に救急科を開設し、1年が経過しました。今号では、当院の救急医療についてを掲載します。

二次救急医療機関としての役割

日本では救急患者さんの重症度に応じて対応する医療機関が、一次・二次・三次救急医療機関に分類されています。栃木県では栃木県保健医療計画で10救急医療圏に区分されており、県東部に位置する芳賀郡市は芳賀救急医療圏になります。

芳賀救急医療圏では、芳賀都市医師会による芳賀地区救急医療センターが初期救急医療機関に該当し、休日や夜間ににおける比較的軽症な患者さんに対応しています。当院は二次救急医療機関に該当し、主に入院治療や手術を必要とする患者さんに対応する医療機関とされています。そのため、軽症の患者さんに対する一次救急は原則としてお断りせざるを得ないことがあります、芳賀地区救急医療センターと連携して診療にあたっています。



• 芳賀医療圏 •

一次救急・二次救急・三次救急医療とは？

一次救急医療

- 休日や夜間における比較的軽症な患者に対応。
 - ・休日夜間急救センター
 - ・在宅当番医など。

芳賀地区救急医療センター

二次救急医療

- 入院や手術等が必要な重症患者に対応。
 - ・病院群輪番制病院
 - ・救急告示医療機関

芳賀赤十字病院

三次救急医療

- 緊急性や専門性の高い脳卒中や急性心筋梗塞等、また重症外傷等の複数診療科にわたる疾患の救急患者に対応。
 - ・救命救急センター

大学病院 など

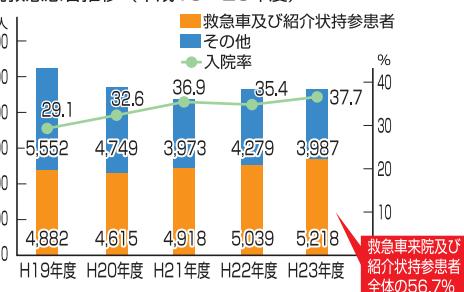
救急患者受け入れ状況

— 年間約9,000人の救急患者さんを診察 —

当院救急外来では、平成23年度は9,205人の救急患者を受け入れました。その内訳は、救急車来院及び紹介状持参患者が5,218名で56.7%を占め、救急外来受診者の37.7%の方が受診後に入院されました。

二次救急医療において内科系医師・小児科医師・外科系医師・産婦人科医師が24時間365日、救急外来診察をしております。また、急性心筋梗塞に対する緊急心臓カテーテル検査、脳血管疾患に対する緊急手術等の三次救急医療にも対応しております。

当院救急患者推移（平成19～23年度）



平成23年度栃木県内医機別救急車搬入件数

項目	病院名（医療圏）	H23年度	病床数
1	A大学病院（県南）	5,737台	1,000床以上
2	B病院（県央）	5,088台	600床以上
3	C大学病院（県南）	3,916台	1,000床以上
4	芳賀赤十字病院（県東）	3,768台	400床
5	D病院（県南）	3,665台	600床以上
6	E病院（県北）	2,524台	500床以上
7	F病院（県南）	2,503台	300床以上

— 年間3,700台を超える救急車を受入 —

平成23年度の当院の救急車搬入台数は、3,768台でした。栃木県内の医療機関の中で、4番目に多く救急車が搬入されています。

平成23年4月1日より、救急対応をより円滑に進めるため、救急科を開設しました。救急隊専用の芳賀日赤ホットラインを通じて、救急患者受入れ要請を受けます。救急科医師が初期診療を行い、該当する診療科医師へと引き継いだり、三次救急医療機関へ紹介搬送するなどの対応をしています。

救急科紹介

救急科について

平成23年度は、救急患者総数9,205名の約7%にあたる636名の救急患者を取扱いました。

現在、4名の救急担当医師が診療にあたっています。

1 受入要請



救急隊から受入要請。
↓
受入決定後、救急室は受入体制を整えます。

2 救急車到着



患者さん到着後の救急室は緊迫します。

3 初療開始



診察しながら、さまざまな処置を開始します。

4 方針決定



患者さんの診察をして、該当する診療科医師と連携します。

救急科紹介

救急科専門医の有資格医師2名及び医員2名。

救急科専門医とは、救急専門指導医指定施設の救命救急センターで専任医師として勤務した医師です。また、当院は救急科専門医指定施設となっております。



部長
林 堅二



病院長
岡田 真樹

【認定資格】

日本救急医学会救急科専門医、日本集中治療医学会専門医、日本蘇生学会蘇生法指導医、日本麻酔科学会指導医、日本医師会産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本体育協会公認スポーツドクター、ICD(感染症コントロールドクター)、日本DMA T隊員

【認定資格】

日本救急医学会救急科専門医、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会指導医、日本大腸肛門病学会指導医、日本内視鏡外科学会技能認定、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本医師会認定産業医、ICD(感染症コントロールドクター)



医員
林 浩史



医員
玉井 謙次

トピックス

レジナビフェア2012inTOKYOに参加

— 臨床研修医募集 —

当院は、平成16年から臨床研修指定病院となり、臨床研修医の育成に取り組んでいます。7月15日(日)医学生向けの研修病院説明会「レジナビフェア2012 in 東京」(約500施設参加)が東京ビックサイトで開催されました。岡田病院長、村上第一内科部長、林麻酔科部長など11名が参加し、医学生たちに当院の臨床研修プログラムなどの説明をしました。



村上第一内科部長と研修医・阿部医師が医学生たちに当院をアピール

新任医師紹介

Profile

武島 えり
8月1日赴任



- ①第三内科医師
- ②茨城県守谷市
- ③腎臓内科、透析専門です。若輩者ですが、よろしくお願い致します。

防 災

— いつ起こるかわからない災害に備えて — 栃木県・那須烏山市総合防災訓練に参加



栃木県・那須烏山市総合防災訓練が、9月2日（日）大桶運動公園で開催されました。大震災後初となる訓練には関係団体や企業などから約900名が参加し、当院からは災害派遣医療チーム（DMAT）及び救護班1個班その他15名が参加しました。今回の訓練では、同市内で震度7を記録する直下型地震が起き、家屋倒壊やライフラインに甚大な被害が生じたとの想定で倒壊家屋や列車からの救助、負傷者救護などの訓練が実施されました。

当院災害派遣医療チームは、トリアージエリアで次々と運ばれてくる傷病者のトリアージを行い、他災害派遣医療チームと連携して活動の訓練をしました。また、当院救護班は日赤救護所の重傷者エリアを担当し、トリアージエリアから運ばれてくる患者の対応訓練を行いました。

トリアージ

災害発生時など多数の傷病者が発生したときに、できるだけ多くの患者を救うため、傷病の緊急度や重症度に応じて患者搬送や治療を行う優先順位をつけること。

災害派遣医療チーム(DMAT)

災害発生48時間以内に活動できる機動性と専門的なトレーニングを受けた医療チームをいう。当院は、栃木県DMAT指定医療機関に指定されており、東日本大震災において医療支援活動を行いました。

— 災害時の医療継続の食料 —

食品スーパーたいらやと災害時における協力支援協定締結

東日本大震災時は、栃木県の災害拠点病院として被災者の受け入れや、地域の中核病院としての医療支援を提供しました。しかし、建物の被災によるライフラインの遮断に対する復旧活動や、水・食料品の確保に苦慮しました。これらのことから、災害時であっても最大限の医療資源を提供するため協力体制の整備を進めています。

9月3日、食品スーパーのたいらや（宇都宮市）と大規模災害時に食料品等を優先的に提供する「災害時における食料品等の協力・支援に関する協定」調印式を行いました。たいらやの村上篤三郎代表取締役社長と岡田病院長が協定書に署名し、協定を締結しました。災害発生時に、医療を継続するために医療支援にあたる職員向けに3,000食分が優先的に提供されます。また、職員以外の入院患者さん向には食料品を備蓄して備えています。



協定書に署名後、握手をする村上社長と岡田病院長

体験実習

高校生・中学生が病院で体験実習



ふれあい 看護体験



高校生が白衣を着て看護師体験！

8月3日（金）、「ふれあい看護体験」が開催されました。患者さんとのふれあいを通して、世話をすること、看護することに理解と关心を深めてもらうことを目的としています。

真岡女子高等学校をはじめとする近隣7校から30名の高校生が参加し、①院内見学②講話（「赤十字の活動」「看護師への道」）③看護体験④ディスカッションを行いました。オリエンテーションの後、グループに分かれ各病棟で看護体験を実施しました。看護師の指導のもと、足浴や食事介助、血圧測定、車いす乗降介助などを体験しました。

白衣を着た高校生たちは、緊張の面持ちでそれぞれ患者さんたちと接していました。



高校生の感想を紹介

「産まれたての赤ちゃんを抱いて緊張した。」

「血圧測定が、難しかった。」

「初めて白衣を着て、とても新鮮に感じた。」

「今回の体験で、看護師になりたいという気持ちがより強まった。」

マイチャレンジ事業

中学生が職業体験



栃木県の「心の教育」の一環として、芳賀郡市内の中学校では、2年生が地域の事業所等で社会体験活動を行うマイ・チャレンジ活動を実施しています。当院にも職場体験活動として、6~7月にかけて3日間ずつ真岡中3名・山前中4名・田野中2名・大内中1名が来院し、患者さんの身の回りのお世話（洗髪の手伝い、車椅子での移動介助等）、各部署の見学等を行いました。



患者さんの手をやさしく洗います

血圧測定しているところです



ベッド上安静の患者さんの洗髪をしています

大内中の女子中学生は看護師になりたいという思いから当院での実習を選んだということでした。「お年寄りの患者さんと話をしてみたりして、身近で接することができてよかったです。働いている看護師さんは、忙しかったり、疲れていたりしても、表情に出さず明るくしているのが素晴らしいです。やっぱり、看護師になりたいと思いました。」と話していました。

おしゃらせ

敷地内全面禁煙・禁煙外来(健康保険適応)について

健康増進法の施行に伴い、多くの人が利用する施設、学校、病院等では受動喫煙防止策を講じるよう義務付けられています。

当院は、**11月1日(木)より病院敷地内全面禁煙**といたします。

喫煙は、喫煙者本人の健康を害するばかりでなく、間接喫煙により非喫煙者にも健康に悪影響を及ぼします。患者様のみならず、ご家族及びお見舞いの方々、地域住民すべての人の健康を守るために、敷地内全面禁煙にご理解とご協力ををお願いいたします。

なお、当院では、禁煙外来を設け自由診療で、たばこを止めたい方を支援しておりますが、敷地内禁煙であることなどの一定の要件を満たすことで、健康保険での診療が可能となります。

つきましては、11月より健康保険適応による禁煙外来を開設し、更に皆様の禁煙に対する支援を充実してまいります。



外来診察予定一覧表

休診日

日曜日、祝祭日、創立記念日(7月1日)、年末年始(12月29日～1月3日)、毎月第2・第4土曜日は外来休診日

受付時間

初診受付 午前8時30分～午前11時00分

再診受付 午前7時30分～午前11時00分

※都合により、担当医師の変更及び休診等がありますので、各科外来にお問い合わせ願います。

※放射線科は、外来は行っておりません。

※TEL 0285-82-2195(代表)

平成24年10月1日現在

科別	曜日	月	火	水	木	金	土
内科 (予約制)	午前	初診 河又・浦 村山	武島・新島 上田	佐藤・森下 篠崎	福田・谷田部 山内	村上・中屋 岩下	第1週:村上・染谷・浦 谷田部・中屋 第3週:佐藤・河又・村山 新島・山内
		再診 佐藤・村上 染谷・篠崎	河又・山内 新畑・ 澤田(神経内科)	村上・武島 浦・谷田部(総診) 平野(呼吸器)	染谷 外島(血液)	佐藤・河又 中村(神経内科) 安藤(内分泌)	第1週:新畑 中村(神経内科) 第3週:篠崎 外島(血液) 第1・3土曜
	午後	長嶋 (膠原病)	森下(腎臓) 澤田(神経内科) 中屋(呼吸器)	村山 村上(ペースメーカー) 新島(循環器)	染谷・浦・福田 中屋(呼吸器)	新畑・河又	
外科	午前	岡田・佐藤寛	塚原・直井	佐藤寛・井上	岡田・俵藤・直井	塚原・井上	第1土曜:俵藤・直井 第3土曜:佐藤・俵藤 第5土曜:岡田・俵藤
	特殊外来	乳腺外来 (午後:櫻木)	形成外科(須永)am 9:30～ 化学療法外来(藤井)am,pm (第2am) 乳腺外来(午後:櫻木)	小児外科(前田)第1・3・5 乳腺外来(宮崎) (第2am・第4am)	形成外科 (去川)am 9:30～	呼吸器外科(手塚) 毎週 pm 2:00～	乳腺外来(塩澤) 心臓血管外来(相澤)
脳外科(予約制)	午前	河村	宮脇	横田	宮脇	山口	宮脇第1・5河村第3
整形外科	午前	小島・村山・松村	高田・近藤	小島・村山・宮本	近藤・安食	高田・小島・東	交代制(医師2名)
	特殊外来	⑤近藤pm 2:00～ ⑥装具am 10:00～	⑦装具am 10:00～		⑧スポーツ外来(上本)am 9:00～ ⑨装具am 9:00～	装具am 10:00～	第3土曜:宮本
小児科	午前	菊池・保科 齋藤・別井	保科・別井 鈴木・紙谷	菊池・齋藤 植田	齋藤・植田 鈴木	菊池・保科 別井	菊池・保科 齋藤・別井
	午後	⑩予防接種 (保科・別井)	⑪乳児健診(植田鈴木) ⑫退院後外来(別井) ⑬アレルギー外来(紙谷) ⑭心臓外来(保科)	⑮アレルギー外来(菊池・齋藤) ⑯予防接種(植田・鈴木)	⑯腎臓外来(伊東)第2 ⑰退院後外来(植田) ⑱アレルギー外来(齋藤) ⑲心臓外来(菊池) ⑳アレルギー外来(保科) ㉑退院後外来(鈴木) ㉒神経外来(森)		
産婦人科	午前	婦人科 高橋	木村	田中	高橋		田中第1・5木村第3
		産科 渡辺		木村	田中	渡辺	木村第1・5田中第3
	初診	田中	自治派遣医師	渡辺	木村	高橋	渡辺
	午後	婦人科 ⑤渡辺 産科 産褥 高橋	ローリスク外来 高橋自治	診療中止	ローリスク外来 木村	高橋	
眼科	午前		③田中		④大河原	⑤佐藤	
	午後	⑥吉田	⑦田中		※処置及び検査		
皮膚科	午後	藤田		自治派遣医師		藤田	
精神科	1日	⑧心理外来(大津)pm ⑨心理外来(大津)am・pm	須田	⑩心理外来(大津) am・pm ⑪心理外来(大津) am・pm	⑫心理外来(大津) am・pm ⑬心理外来(大津) am	⑭心理外来(大津) am	⑮心理外来(大津) am
耳鼻科	午前	藤澤	藤澤	藤澤	自治派遣医師	藤澤	藤澤
口腔外科(予約制)	1日	岡田・中野	岡田・中野	岡田・中野	岡田・中野	岡田・中野	岡田・中野
泌尿器科	午前	近藤	近藤	近藤・中村	近藤(完全予約)	中村	中村
	午後	夏井	日向			近藤	
放射線科	1日	小林・中嶋	小林・中嶋	小林・竹内・中嶋	河合・大竹	小林・中嶋	中田・河合・小林

芳賀赤十字病院の理念及び基本方針

《理念》 患者さま本位の医療を中心とします。

《基本方針》

- 人道・博愛の赤十字精神にのっとり、全ての患者さまの人権と意思を尊重した医療を提供します。
- 医学の進歩に伴う医療水準向上のために、常に自己研鑽に努め、最新かつ安全な医療を提供します。
- 地域の中核病院として、医療・保健・福祉の関係機関との連携を推進し、地域医療の発展に寄与します。
- 災害救護活動に積極的に参加し、社会に貢献します。



芳賀赤十字病院

日本赤十字社